

# 中学英語における実践的英語教育の取り組み

— 体験学習プログラムを通じたコミュニケーション能力の育成 —

A Communicative Approach to Junior High School English Education

—Promoting English Communication Skills Through Interactive Learning Programs —

森本 治子

(Haruko MORIMOTO)

## I. はじめに

文化背景の異なる人たちと接する機会が飛躍的に増大してきた現代社会では、国際的共通語として英語は最も中心的な役割を果たしている。文部科学省が策定した『『英語が使える日本人』のための行動計画』<sup>(1)</sup>によると、「英語が使える」ようになるためには、中学校においても外国語の文法や語彙などについての知識を持っているというだけでなく、実際のコミュニケーションを目的として英語を運用することができる能力が求められている。それに伴い、文部科学省では平成14年度に「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール事業の推進」として、全国で16校を指定した。目白学園高等学校は、初年度に東京都内で指定された2校のうちの1校である。筆者は、平成14年度から平成16年度までの3年間を研究員として、「総合的英語力に裏打ちされたコミュニケーション能力の養成を目指す教育方法の開発」に携わった。

平成7年より目白学園中学校では、12年間にわたり、本校独自のACEプログラム（Active Communication in English）において、海外のテキストやオリジナルテキストを使用し、実践的英語コミュニケーション能力の育成を目指してきた。コミュニカティブ・アプローチの基本的な考え方を取り入れ、教室での英語の授業をなるべく実際に言語でコミュニケーションが行われる場合に近づけて指導をしている。学習の焦点が、実際に言語をいつ、どこで、どのように使うか、など言語の運用能力やコミュニケーション能力を育成する方向に向けられている。コミュニケーション能力の基礎とは、挨拶や応対といった日常の言語活動を根底で支えている力であり、実際に体験する中で身につけていくべきである。

本稿は、目白学園中学校ACEプログラムについての実践的研究報告である。中学校3年に在籍している生徒へのアンケート結果をもとに検討を加えた。

## II. 特色

目白学園中学校では、「使える英語」の習得を目標とした英語学習プログラムを確立して、今日まで実績を積み重ねてきた。中学校1年では、ネイティブ教員によるACEの授業を週4時間、中学校2年と中学校3年では週5時間ずつ設定し、クラスを2分割して少人数制で授業

を行っている。英語というツールを使って、世界の人々とコミュニケーションを取ることができ、能力を育成するために、コミュニケーション言語の習得を重視したシラバスを用いている。

さらに、中学校1年から3年まで、検定教科書の「*New Crown English Series*」(三省堂)を使った日本人教員による英語の授業を週3時間ずつ設定している。ネイティブ教員と日本人教員が、互いに連携を取ることで英語の知識(語彙力・構文能力)をできるだけ効率的につけていくこと、そして学んだ知識の応用として、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を伸ばす教育方法の開発を積み重ねてきた。校内スピーチ・ドラマコンテストは今年で第31回を迎え、上位入賞者は、読売新聞社主催「高円宮杯スピーチコンテスト東京都予選大会」出場候補者となる。

授業以外に、本校では体験型イングリッシュ・キャンプを中学校1年で2回、中学校2年で2回設定している。日々の授業とは違う環境の中で、多くのネイティブ教員と触れ合い、多様な英語に接することを目標としている。学習した表現を実際に使い、生徒一人ひとりが自分の伝えたいことを表現する喜びと同時に、英語を学ぶ意義を実感する。自分の考えや気持ちを相手に伝えるスキルを磨き、異なる言語や多様なバックグラウンドを持つ人々との交流を楽しむ態度を身につけている。

そして、3年では中学校3年間の英語学習の集大成としてカナダのウェストバンクーバーで語学研修を実施している。<sup>(2)</sup>ほとんどの生徒にとっては海外旅行もホームステイも初めてであるので、授業やイングリッシュ・キャンプにおいて事前学習を行っている。英語学習は、本校の姉妹校であるウェストバンクーバー45学区の学校で行うので大変安心である。ホームステイをしながら、午前中はグループに分かれて校外学習やアクティビティー、午後が英語教育専門(ESL)の教員による校内英語授業となっている。このカナダの語学研修という貴重な体験は、生徒たちの英語力の強化だけでなく、英語を学ぶ必然性のある状況を作り出し、英語に対する自信をもたらす。

英語を学ぶ目標は、自分の関心のある分野について英語で理解して知識を拡大し、豊かに表現できる力を持つことである。生徒の一人ひとりが、自分が何のために英語が必要かという目的意識を持つことにより、学習への強いモチベーションが生まれる。

### Ⅲ. 学年別のカリキュラム

#### 中学校1年

週4時間のACE授業をほぼ次のように配当して授業を行っている。

第1時—3時 テキスト「*Go For It*」(Thomson Heinle)とテキストに準じたワークブックの学習に当てる。

挨拶と自己紹介の仕方、家族についての紹介、自分の趣味について。

リーディングに関しては、テキスト中心ではあるが、教員が読み物を適宜紹介する。

ライティングに関しては、授業や体験型イングリッシュ・キャンプで学習したテーマについてまとめた文章を書く。(文化祭で展示)

2学期からは、3学期に行われる校内スピーチ・ドラマコンテストにむけて、レシテーション(暗誦)発表の準備。

第4時 リスニングのテキストである「Listen First」(Oxford)、またPhonics(発音)に当てる。

Phonics(発音)では、毎週新しい発音が導入され、リーディングの基礎を築く。

### 中学校1年

#### 成績評価項目

ユニット(単元)テスト	25%
リスニングテスト	25%
スピーキングテスト	25%
クラスワーク	25%

学期末の評価については、上記の評価に基づき、ACEレポートカードを発行する。

学期末に(年に3回)個別のスピーキングテスト(1人5分間)を実施する。

### 中学校2年

週5時間のACE授業をほぼ次のように配当して授業を行っている。

第1時—3時 テキスト「*English in Action*」(Thomson Heinle)とワークブックを使用し、語彙、ライティング、文法、構文の学習に当てる。单元ごとに単語テスト、ユニット(単元)テストを行う。2学期からは、3学期に行われる校内スピーチ・ドラマコンテストにむけての準備。

2年生は、スキットまたは決められたテーマ(My Dream)に基づいたスピーチを作成する。

第4時 学習した単語や構文を使ったディクテーション(50語から70語の英語聴き取りテスト)。

2学期からは、ショートストーリーを導入。「*Penguin Easy Starts, Graded Readers*」一斉授業で同じ教材を読んで質問に答える。

個別リーディング「*SRA Reading Lab Power Builders 1b*」を使用。

学習者が各自のペースに合わせて取り組んでいく教材である。

Quickwrite(クイックライト)は、与えられたトピックについて5分間できるだけ多く書く練習。この練習では、語彙や文法の正確さは気にしなくてよいので、速く、多く書くことを目標にするようにと指導。

第5時 「*Journeys-Listening and Speaking*」(Longman)の学習。  
テーマに即したペアワーク、ロールプレイ、インフォメーション・ギャップの活動に当てる。

中学校2年	成績評価項目	
	単語テスト、単元テスト、リスニングテスト	30%
	スピーキングテスト	20%
	ライティング	15%
	ディクテーション	10%
	リーディング	15%
	クラスワーク	10%

学期末の評価については、上記の評価に基づき、ACEレポートカードを発行する。  
学期末に(年に3回)個別のスピーキングテスト(1人5分間)を実施する。

### 中学校3年

中学3年生では、中学2年生の学年末の成績によって習熟度別に2分割している。  
Aグループは応用クラス、Bグループは標準クラスである。  
週5時間をほぼ次のように配当して授業を行っている。

第1時—3時 Listening & Speaking (リスニング&スピーキング)  
テキスト「*Listen In*」、「*Journeys 2-Listening and Speaking*」(Longman)  
語彙、ディクテーション、カナダ研修準備(1学期)。  
値段の尋ね方、買い物の場面を設定してカナダの通貨を使用する。  
計画や自分の希望を伝える、道順や交通手段を尋ねる。  
質問、依頼、提案、意見、確認、勧誘の場面で適切な表現ができる。  
校内スピーチ・ドラマコンテストにむけての準備(3学期)。  
Aグループはスピーチ、Bグループはスキットを完成し、発表する。

第4時—5時 Reading & Writing (リーディング&ライティング)  
リーディング— Aグループ—「*Oxford Bookworms Stage 1*」  
「*Penguin Readers Level 2*」  
個別リーディング SRA 1b  
Bグループ—「*Penguin Readers Level 1*」  
個別リーディング SRA 1c  
語彙、内容について理解したか単語テストを実施する。  
多読を奨励し、各自が記録をつける。

ライティング 英語で日記をつける。(過去形の応用)

毎日の生活について書く。(頻度を表す副詞の応用)

過去の出来事について文章に表す。

カナダのホストファミリーへの手紙。(1学期)

カナダ研修旅行のポスターを作成し、文化祭で展示する。(2学期)

スピーチまたはスキットを作成する。(2学期)

### 中学校3年

成績評価項目

Listening & Speaking

ディクテーション 20%

リスニングテスト 20%

スピーキングテスト 20%

クラスワーク 20%

課題提出 20%

Reading & Writing

リーディング 30%

クラスワーク 30%

期末テスト 40%

学期末の評価については、上記の評価に基づき、ACEレポートカードを発行する。

学期末に(年に3回)個別のスピーキングテスト(1人5分間)を実施する。

### 体験型イングリッシュ・キャンプについて

#### (1) 中学校1年夏期(校内)

目的: 林間学校にむけて必要な英語の学習をする。

内容: 「クラスルーム・イングリッシュ」

コンピュータを使ったキーボードの練習。

「マザー・グース」一校内スピーチ・ドラマコンテストに向けての導入。

キャンプファイヤーソングの練習、日常的な会話について。

期間: 7月下旬 2日間

#### (2) 中学校1年 林間学校(志賀高原にて)

目的: 自然の中での生活や自然観察を通じて実践的な英語を学ぶ。

内容: オリエンテーリング、キャンプファイヤー、ホットドッグロースト

英語を使ったゲーム(インフォメーション・ラリー・トレジャー・ハントなど)

英語で日誌を書き、学習した事項についてハンドブック（小冊子）に記入。  
英作文「林間学校で好きだった活動について」—文化祭で展示。

期 間：7月下旬 3泊4日

(3) 中学校2年夏期（校内）

目 的：英語で積極的にコミュニケーションを図る。

葛西臨海水族館にて、海の生物の生態について英語で学習する。

内 容：夏休みの計画について英語で表現する。（現在進行形の応用）

インターネットで海の生物について調べ、「スイミー」、「蟹のハーミット」のストーリーを読み、質問やクイズに答える。

ビデオ学習「ディープ・ブルー」—海の生物についてのドキュメンタリー映画。

葛西臨海水族館にて、英語研修。

観察後、ハンドブック（小冊子）の課題を仕上げる。

期 間：7月上旬 2日間

(4) 中学校2年クリスマス・キャンプ（校内）

目 的：異文化理解を通して、実践的英語コミュニケーション能力を身につける。

日本と外国のマナーの共通点や相違点をゲームやディスカッションを通じて学ぶ。

内 容：英語を使った様々な活動を通して日常生活に必要な英語を学ぶ。

「世界のクリスマス、また祝日」について学ぶ。

ビデオ学習「クリスマス・キャロル」、クリスマスの歌の発表。

最終日には、ジンジャーブレッドクッキーを焼いてティー・パーティーを開催。

学習したことについて、ハンドブック（小冊子）の課題を仕上げる。

期 間：12月中旬 3日間

#### IV. 実践結果と考察

コミュニカティブ・アプローチでは、実際的な言語使用に重点を置き、コミュニケーション能力の育成を目的とするため、様々な特徴が見られる。文法中心の教授法では、学習者は「疑問形、否定形、受動態、条件文」などの文法用法の学習目標が与えられるが、コミュニカティブ・アプローチでは、ロールプレイやペアワークなど様々な言語活動を通じて、実践的コミュニケーション能力を育成することが目的とされる。従って、学習目標が現実的に役に立ち、生きた言語学習ができるということから生徒のモチベーションを高め、学習を自発的に行わせる動機を与えるのである。

本校のカリキュラム、イングリッシュ・キャンプ、カナダ研修旅行により、生徒の英語学習の意識にどのような変化が見られたかについて、中学3年生43名を対象にアンケート調査を実施した。

「目白学園中学校3年 英語学習に関するアンケート」〈実施日 平成19年9月11日〉

### ACEの授業について

	そう思う	どちらとも言えない	そうは思わない
(1) 授業は楽しい、または面白い	51.2%	32.6%	16.2%
(2) 授業を3年間受けた結果、英語の力が伸びた	46.5%	32.5%	21%
(3) 授業で、日本語も使ってもらいたい	43.5%	20.9%	35.6%
(4) 先生はネイティブスピーカーがいい	59.5%	24.2%	16.3%

### イングリッシュ・キャンプについて

	そう思う	どちらとも言えない	そうは思わない
(5) 林間学校の英語を使った活動で英語に興味を持った	44.2%	37.2%	18.6%
(6) 中学1年と2年の校内講習は英語学習に役立った	34.9%	41.9%	23.2%
(7) 中学2年の校外学習は英語学習に役立った	44.2%	25.6%	30.2%
(8) 中学2年のクリスマス・キャンプは英語学習に役立った	44.2%	25.6%	30.2%
(9) カナダサマーセッションで英語の力がついた	70.0%	23.3%	6.7%

### 英語の4技能について

	そう思う	どちらとも言えない	そうは思わない
(10) 現在、授業で先生の話す英語が理解できる 「聞く」	69.9%	20.9%	9.2%
(11) 現在、授業で英語を話すことにほとんど困らない 「話す」	32.9%	41.5%	25.6%
(12) 現在、授業で読む教材は理解できる 「読む」	39.6%	44.2%	16.2%
(13) 現在、授業で指示された英語が書けてほとんど困らない 「書く」	39.6%	44.2%	16.2%

その結果、生徒の51.2%が「ACEの授業は面白い」(Q1)と認識し、また生徒の46.5%が、「3年間のACEの授業で英語の力が伸びた」(Q2)と回答した。またアンケート実施時に「英語が好き」と答えた生徒は69.8%(Q14)を占める。中学1年と2年で実施したイングリッシュ・キャンプについては、44.2%が英語学習に役立った(Q5、Q7、Q8)、さらに中学3年で実施したカナダ研修旅行では、70%が「英語の力がついた」(Q9)と回答し

た。カナダ研修は英語力の向上、異文化理解の面において大きな成果が見られ、英語学習に対する強い動機付けとなった。アンケートの自由記述によると、ホストファミリーとの交流、そしてホストファミリーとの生活の中で「生きた英語」に触れたことが最大の成果であったと言えよう。またホストマザーが、英語指導に熱心で読書を薦めた家庭もあった。帰国してからもホストファミリーと手紙や電子メールの交換を続けている生徒も多い。中学1年と2年で実施した体験型イングリッシュ・キャンプは英語に対する興味を持たせることにはつながったが、より高い動機付けには、カナダでの18日間の研修が大きな成果があったと言えよう。

アンケートの結果を見ると、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能について、最も向上したと感じているのは「聞く力」で、69.9%の生徒が授業で教員の話す英語が理解できる（Q10）と回答した。「話す力」については、多くの生徒がカナダ研修で「向上した」と答えている。（自由記述による）これらについては、英語研修が会話中心であることに加え、ホームステイ先での会話によるところが大きいと思われる。特に生徒たちの日常生活に必要な会話であることが、効果をより大きなものにしてている。英語力向上や異文化理解における成果と共に注目すべきことは、海外で実際に生活した経験を通して、一人ひとりの生徒が人間的に大きく成長したことである。また生活態度に変化が見られた生徒も多い。以前よりも真剣に授業に取り組み、英語力をつけて再度カナダに行くことを目標にしている生徒や、普段の生活に感謝して、自分のまわりの人達を大切にする姿も多く見られる。また将来英語を使う職業につきたい生徒が43%（Q18）、海外で勉強や仕事をしたいと回答した生徒が41.9%（Q19）であった。

### 英語の学習について

	中学1年で好き 今も好き	中学1年では 好きだったが 今は嫌い	中学1年では 嫌いだったが 今は好き	中学1年で嫌い 今も嫌い
(14) 英語が好きか	46.5%	14.0%	23.3%	16.2%

	全くしない	30分～1時間	1～2時間	2時間以上
(15) 自宅での英語学習時間	18.6%	53.6%	20.9%	6.9%

	通っていない	塾	家庭教師、 個人教師	英会話 スクール
(16) 英語の勉強のために通っている塾など	67.4%	18.8%	6.9%	6.9%



**希望進路・職業について**

	四大 (文系)	四大 (理系)	四大 (それ以外)	短大	専門学校	海外の大学 短大	未定
(17) 希望進路	28.0%	22.5%	9.3%	0%	4.7%	6.9%	28.6%
				思う	分からない	思わない	
(18) 将来、英語を使う職業につきたいか				43.0%	28.0%	29.0%	
(19) 将来、日本以外の国で勉強や仕事をしたいか				41.9%	37.2%	20.9%	

**実用技能英語検定（英検）について**

**過去3年間の英検受験状況（中学3年終了時までに合格した最高級）**

	ない	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
平成16年度卒業生（59名）	3.4%	0%	0%	0%	42.4%	44.1%	8.5%	1.6%
平成17年度卒業生（47名）	34.2%	0%	0%	0%	36.1%	19.1%	10.6%	0%
平成18年度卒業生（53名）	14.9%	0%	0%	9.4%	28.4%	26.5%	20.8%	0%

**現中学3年生の受験状況（中学2年終了時まで）**

	ない	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級
(20) 受験した最高級	18.6%	0%	0%	2.3%	4.7%	37.2%	37.2%	0%
(21) 合格した最高級	27.8%	0%	0%	2.3%	0%	32.7%	37.2%	0%

(注) 平成19年第1回英検は、日程がカナダ研修直前であり、受験者が少なかった。第2回、第3回は中学3年生全員が受験するように奨励している。結果は中学3年終了時となる。

**海外滞在経験について**

	なし	家族と一緒に	ホームステイ	その他 あり
(22) 1ヶ月を超える外国滞在経験の有無	88.3%	7.1%	2.3%	2.3%

**カナダ研修旅行に参加して（自由記述）**

- ・ホストファミリーが大変よい家族で、ホストマザーが熱心に英語を教えてくれた。
- ・もっと英語を勉強して、また外国に行きたい。
- ・ホストファミリーとして留学生を受け入れてみたい。
- ・外国の人たちと実際に触れ合うことができた。とてもよい経験で楽しかった。

- ・異文化を学べて嬉しかった。今度はもっと英語が話せるようになってから行きたい。
- ・楽しかったし、英語を学ぶよい行事だと思った。
- ・ホームステイ先で英語を教えてもらい、英語の力がついた。
- ・楽しく英語が学べてよかった。もっと英語が話せたらさらに楽しかったと思う。
- ・英語しか通じなくて困ったが、自分たちでコミュニケーションを取ろうと努力し、英語を話す力がついた。
- ・ホストファミリーとの生活の中で、英語を聞いたり、話したりする力がついた。
- ・一生の思い出となるととてもよい体験だった。またカナダに行きたいと思う。

### カナダ研修旅行 生徒の英作文より

#### My Memory in Canada

My best memory is spending time with my host family. My host mother was very kind to me.

My host family taught me many things about Canada. I also learned about Canadian food and culture. For lunch, we had a healthy sandwich every day. For dinner, we ate steamed vegetables instead of rice. But it was the personality of my Canadian host family that impressed me the most. The Canadian people and my host family were outgoing and positive. Even though I couldn't speak English well, I tried not to worry too much and did my best to understand what people were saying. I learned that it is important to be outgoing and positive. I would like to work hard to improve my English and visit my host family again. I am very grateful to my host family for accepting me into their home. Thank you very much.

#### My Host Family

I spent a very good time in Canada. My host family was very kind to me. My host mother taught me English. She gave me an English book to read. I had trouble understanding the English words so she taught me the meaning and how to use these words. She taught me slowly and politely. She also drove me to many places. We went to the shopping center, sports center, the ocean and many other places. These places were very interesting. At the shopping center, I bought souvenirs for my family, relatives and friends. I have many happy memories from Canada. I hope to visit Canada again.

#### My Wonderful Time in Canada

I went to Canada for 18 days and had a wonderful time. There is a lot of nature in Canada. The people in Canada were very friendly. I couldn't say everything I wanted in English, but

I did my best. I learned that it is important to communicate in English as much as we can. I think my listening and speaking improved because of the time I spent in Canada. I want to study in Canada again.

## V. まとめ

言葉を使ったコミュニケーションが生まれるには、意志を伝えたいという「必然性」がベースにある。筆者は、生徒の実体と体験の重視を念頭に置き、授業や行事、研修を展開させることができれば、生徒のモチベーションは確実に高まり、学力も向上すると考える。本校のACEプログラムでは、「教室内での英語学習」を実践の場である「体験型イングリッシュ・キャンプ」や「カナダ研修」につなげ、定着を図っている。またカナダ研修で見られるように、実践の場で英語を運用できたことが生徒のモチベーションを高めている。カナダ研修で自信を深め、本校の交換留学制度を利用して、現在高校1年生5名（オーストラリア2名、カナダ2名、イギリス1名）が留学している。ACEプログラムの体験をベースにした「モチベーションを高めるアプローチ」により生徒が語学や異文化への関心を深め、積極性とコミュニケーション能力を習得したことは、中学3年生のアンケート結果から明らかとなった。

ただし、今後の課題としては、生徒の英語学習に対するモチベーションをさらに引き上げ、英語力の向上と英検などの検定試験に合格する能力を育成したい。生徒の英語運用能力を高めるために、国際化に対応した実践的コミュニケーション能力と知識の拡大を目指す自己表現力を育てるプログラムの開発に取り組む所存である。

## 【注】

- (1) 文部科学省『「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想』2002年
- (2) 平成20年度よりカナダ修学旅行に変更予定

## 【参考文献】

- ・市川力 著 『「教えない」英語教育』中公新書ラクレ、中央公論新社、2005年
- ・大修館書店刊 「英語教育－今からできる英語イベントのすすめ」2006年6月号 Vol.55 No.3
- ・北出亮 著 『英語のコミュニケーション活動』、広島修道大学学術選書、大修館書店、1992年
- ・羽鳥博愛 著 『国際化の中の英語教育』、三省堂、1996年
- ・目白学園高等学校 「平成14年度 第1年次 スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール (SELHi) 研究開発実施報告書」、2003年
- ・目白学園高等学校 「平成15年度 第2年次 スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール (SELHi) 研究開発実施報告書」、2004年
- ・目白学園高等学校 「平成16年度 第3年次 スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール (SELHi) 研究開発実施報告書」、2005年
- ・山田雄一郎 著 『英語教育はなぜ間違っているのか』ちくま新書、筑摩書房 2005年
- ・山田雄一郎 著 『英語力とは何か』、大修館書店、2006年

資料1

目白学園中学校カリキュラム表

	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	技 術 家 庭	英 語	A C T	道 徳	特 別 活 動	合 計
1年	6	3	4	4	2	2	3	2	7	1	1	1	36
2年	5	4	5	3	1	1	3	2	8	1	1	1	36
					1								
3年	5	4	5	4	1	1	3	2	8	1	1	1	36

・ACTは各学年で取り組む総合学習

資料2

中学校3年 カナダ研修

旅程表							
	月日	地名	時刻	交通機関	日程	食事	
1	7/12 (木)	成田空港 東京(成田) 発	16:00	AC-004	各自成田空港へ 成田空港集合 エア・カナダにてバンクーバーへ (所要時間：約8時間30分) ***** 日付変更線通過 ***** バンクーバー到着 フェリー乗り場へ フェリーにてビクトリアへ(約1時間半) 着後、ホテルへ 夕食：ホテルにて <b>ビクトリア泊</b>	機内	
			19:00				
		バンクーバー 着	11:30	専用バス		機内	
			13:00				
		ツワッセン 発	15:00	フェリー		夕食	
			16:35	専用バス			
18:00							
2	7/13 (金)	ビクトリア	8:00	徒歩	朝食：ホテルにて 博物館見学と周辺散策 昼食：各自 集合時間まで自由行動 州議事堂周辺散策 夕食：ホテルにて <b>ビクトリア泊</b>	朝食	
			9:30				
			12:30				
			15:00	徒歩		夕食	
			18:00				

中学英語における実践的英語教育の取り組み

3	7/14 (土)	ビクトリア ツワッセン バンクーバー	発着	8:00 9:30 11:00 14:00 15:35 16:45	専用バス フェリー 専用バス	朝食：ホテルにて ホテル出発 ブッチャートガーデン見学とランチ フェリーにてバンクーバーへ (約1時間半) 着後、ウエストバンクーバーへ セカンダリースクール着後、 ホストファミリーと合流。 ホームステイ先へ 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
4	7/15 (日)	バンクーバー				終日：ホストファミリーと過ごします ホームステイ	朝食 昼食 夕食
5	7/16 (月)	バンクーバー		9:00 12:00 12:30	スクールバス	朝食：ホームステイにて 校外学習：UBC (ブリティッシュコロンビア大学) 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
6	7/17 (火)	バンクーバー		9:00 12:00 12:30	スクールバス	朝食：ホームステイにて 校外学習：キャピラノ吊り橋と サーモン孵化場 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
7	7/18 (水)	バンクーバー		9:00 12:00 12:30	スクールバス	朝食：ホームステイにて 校外学習：ロンズデールキーと ガスタウン 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
8	7/19 (木)	バンクーバー		9:00 12:00 12:30	スクールバス	朝食：ホームステイにて 校外学習：グラウスマウンテン 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
9	7/20 (金)	バンクーバー		9:00 12:00 12:30	スクールバス	朝食：ホームステイにて 校外学習：ボーリング 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
10	7/21 (土)	バンクーバー				終日：ホストファミリーと過ごします ホームステイ	朝食 昼食 夕食

11	7/22 (日)	バンクーバー				終日：ホストファミリーと過ごします  ホームステイ	朝食 昼食 夕食
12	7/23 (月)	バンクーバー	9:00 12:00 12:30	スクールバス		朝食：ホームステイにて 校外学習：バーナビービレッジ 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
13	7/24 (火)	バンクーバー	9:00 12:00 12:30	スクールバス		朝食：ホームステイにて 校外学習：スタンレーパークと 水族館 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
14	7/25 (水)	バンクーバー	9:00 12:00 12:30	スクールバス		朝食：ホームステイにて 校外学習：グランビルアイランド 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
15	7/26 (木)	バンクーバー	9:00 12:00 12:30	スクールバス		朝食：ホームステイにて 校外学習：メトロタウン ショッピングモール 昼食：バッグランチ 校内英語授業 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
16	7/27 (金)	バンクーバー	9:00 12:00 13:00			朝食：ホームステイにて 校内英語授業 昼食：バッグランチ 修了式 夕食：ホームステイにて ホームステイ	朝食 昼食 夕食
17	7/28 (土)	バンクーバー 発	9:30 10:00 13:30	専用バス AC-003		朝食：ホームステイにて セカンダリースクール集合 専用バスにてバンクーバー空港へ 空港到着後、グループチェックイン エア・カナダにて帰国の途へ (所要時間：約9時間35分) ***** 日付変更線通過 *****	朝食 機内
18	7/29 (日)	東京（成田） 着	15:05			成田空港到着。入国審査、通関後解散	機内

資料3

**CANADA PREPARATION**

(カナダ研修事前学習、中学校3年 Listening & Speaking 授業案)

**CANADIAN MONEY AND SHOPPING**

**PART 1 - Individual Activity**

- Hand out one envelope to each student with Canadian money in it.
- Explain the value of each Canadian coin and bill.
- Hand out “Yen and Canadian dollar conversion sheet.”
- Discuss different tax and use of credit cards and “Traveler’s Checks”(if necessary).
- Call out different amounts and have students put the right coins and bills together to make that amount. EG. \$5.36: \$1.11: \$3.40: \$27.00: \$2.30

*Each student will have the following Canadian money in the envelope.*

1 loonie	\$1.00
1 toonie	\$2.00
1 quarter	\$.25 (25 cents)
1 dime	\$.10 (10 cents)
1 nickel	\$.05 (5 cents)
1 penny	\$.01
2 - 5 dollar bills	\$10.00
1 - 10 dollar bill	\$10.00
2 - 20 dollar bill	\$40.00
1 - 50 dollar bill	\$50.00
<b>TOTAL:</b>	<b>\$113.41</b>

**PART 2 - Pair Activity**

- Practice “How much is the……?” dialogue.
- Use pictures so students can practice asking for different items. The “store clerk” can also practice adding up the cost.

How much is…?

How much are…..?

### **PART 3 – Small Group Activity**

Set up a store so that students can practice using money and adding up the cost and getting change. Use the pictures and have students buy things from the pictures. They use the dialogues they have practiced.

#### **SET-UP – 14 students**

##### **2 groups:**

##### ***1 shop clerk and 3 shoppers***

1 shop clerk (she has 3 envelopes with money) and 3 shoppers (they take turns using the envelope with money).

##### **2 groups:**

##### ***1 shop clerk and 2 shoppers***

1 shop clerk (she has 2 envelopes with money) and 2 shoppers (they take turns using the envelope with money).

Practice the “How much is this?” dialogues again but have students actually buy things with their money. Store clerk has to make change and the shopper has to check to make sure that they got the right change.

### **THINGS YOU WILL NEED**

- Pictures of items, magazines, postcards, pencils, books, CDs.
- Copies of the items for sale.
- One envelope with money per student (\$113.41).

**Please put this money back into the envelopes for the next teacher.**

There are extra \$50, \$20, \$10 and \$5 bills that you can also hand out to students for the shopping activity.